

もりのくに・につぼん運動

日本人は古くから、森や海、川の自然を守り、育て、その恵みを
得ながら、生きてきました。そこには、人々の優れた知恵や
技があり、同時に、その営みが自然の豊かさを育んできたのです。
地球環境の保全のため、私たち一人ひとりの行動が求められてい
る今、先人たちから受け継いだ知恵や技を改めて見出し、次世代
に継承することを通じて、人と自然が共存する新たな価値観とラ
イフスタイルを提唱し、持続可能な社会づくりに貢献します。



<主な活動>

■ 森や海・川の名人の選定

森、川、海の自然を守り育て、その恵みを暮らしに活かすための優れた知恵や技を受け継ぐ人を「森の名手・名人」「海・川の名手・名人」として選定します。

■ 「聞き書き甲子園」の実施

全国の高校生が、森や海・川の「名手・名人」を訪ね、1対1の対話を通して、その知恵や技、生き方を「聞き書き」し、記録します。私たちの暮らしの基盤にある自然や文化を見つめ直し、次代を担う若者たちを育成するとともに、その成果を広く社会に発信します。

■ 森と人、人と人、世代と世代をつなぐ「地域づくり」活動の推進

「森づくり」や「人づくり」の活動等を通して、異なる世代をつなぎ、新たなコミュニティ再生に寄与する「地域づくり」活動を推進します。

■ 国内外への普及・啓発活動の展開

「名手・名人」の知恵や技を広く社会に発信するとともに、人と自然が共存する新たな価値観とライフスタイルを提唱し、持続可能な「社会づくり」に貢献します。



私たちは、これらの活動を市民、行政、企業、NPOなど多様な主体と連携して実施します。皆様のご賛同、ご参画をお願い申し上げます。

公益社団法人 国土緑化推進機構
認定NPO法人 共存の森ネットワーク